

授業科目名・形態	日常生活支援技術Ⅲ（移動）	演習	必修・選択の別		選択
担当者氏名		開講期	1年後期	単位数	1

【授業の主題】

「尊厳保持」の観点から、どのような状態であってもその人の自立・自律を尊重し、潜在能力を引き出したり、見守ることも含めた適切な介護技術を用いて、安全に援助できる技術や知識について習得する学習とする。このとき、生活支援技術論で学習した人体の構造と機能の知識が不可欠であることを踏まえ、日常生活の根本となる移動についての知識と技術を深める。

【到達目標】

- 1) 移動の意義と目的について理解する。
- 2) 安全で的確な移動・移乗の介助の技法を習得する。
- 3) 移動に関する福祉機器の知識とその活用法についても具体的に学ぶ。

【授業計画・内容】

- 第1回 移動・移乗の意義と目的、安全・安楽について考える
- 第2回 移動・移乗におけるICFの視点とアセスメント
- 第3回 ボディメカニクスの理解と実践
- 第4回 関節可動域と良肢位
- 第5回 移動・移乗における介護技術 ①基本的理解
- 第6回 移動・移乗における介護技術 ②自立度が高い場合、部分的援助を要する場合
- 第7回 移動・移乗における介護技術 ③全面的援助を要する場合
- 第8回 移動・移乗における介護技術 ④ベッドから車いすへ、車いすからベッドへ
- 第9回 移動・移乗における介護技術 ⑤杖歩行・歩行器・車いす走行
- 第10回 技術チェック「車いす移動・移乗」
- 第11回 機能低下・障害がある人の移動・移乗における介護技術1
- 第12回 機能低下・障害がある人の移動・移乗における介護技術2
- 第13回 機能低下・障害がある人の移動・移乗における介護技術3
- 第14回 褥瘡の原因と予防
- 第15回 関連職種との役割と連携、福祉機器

【授業実施方法】

グループワーク、演習形式とする。

【授業準備】

教科書を事前に確認し、わからない語句などは専門書や辞典などで調べておくこと。

【主な関連する科目】

介護の基本、介護総合演習、生活支援技術論

【教科書等】

新・介護福祉士養成講座 生活支援技術Ⅱ（第3版）中央法規（株）

【参考文献】

・大田仁史・三好春樹，新しい介護－全面改訂版－，講談社

【成績評価方法】

筆記試験 60%、実技チェック・レポート等 30%、平常点 10%により総合的に評価する。

【学生へのメッセージ】

対象者の個別性や安全安楽について理解し、積極的に基本技術を習得しましょう。